

シリーズ 石見銀山³⁹

いよいよ発刊 『石見銀山学ことはじめI 始』

このたび、『石見銀山学ことはじめ』シリーズの第一巻となる『始』の巻を、世界遺産登録記念日となる7月2日から販売します。

石見（銀山）地域一帯について、歴史・民俗や自然科学など幅広く調べ、学ぼうとするのが、地域学としての「石見銀山学」です。

これまで、石見銀山学講座として、有識者に助言をいただき、最新の調査成果の発表や国内外の関連研究などの紹介、ワークショップによる意見交換も行ってきたところです。

こうした取り組みの成果として、地域で活躍される研究者や行政担当者が執筆者となり、石見銀山遺跡の全体像を描く『石見銀山学ことはじめ』シリーズを発刊することとしました。

この発行にあたって、盛り込みたい内容、関連付けたい事柄などを市民から募り、執筆を兼ねた編集委員が検討を重ね、今回、第一巻の発行となりました。

『石見銀山学ことはじめ』は全七巻を予定しています。この第一巻では、石見銀山が発見された戦国時代から大森鉱山が休山となった近代まで、さらに世界遺産登録前後の取り組みを記述しており、最新の研究成果などを基に日本史、あるいは世界的視点から見た石見銀山の果たした役割が解る、まさに石見銀山を学ぶ始まりとなる内容となっています。

あらためて石見銀山を知る市民向け教科書と位置付けておりますので、ぜひ、お手に取ってお読みください。

大田市は、「ユネスコ」の「平和と人権尊重」の精神に基づき、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の保全と活用をすすめています。

石見銀山学ことはじめシリーズとその内容

巻名	始	木	火	土	銀	水	番外
内容（キーワード）	石見銀山の発見から世界遺産登録までを、日本や世界の歴史的文脈の中で記述する。	「木」を切り口として、銀山開発、銀生産、人々の暮らしなどを記述する。	石見銀山に関わる、産業、生活、信仰における「火」について記述する。	「土」が形作る石見銀山地内の地形、自然景観、社会景観とそれにかかわる人の動きを記述する。	石見銀山にとっての重要な要素である「銀」やその生産、利用について記述する。	銀山と地域を「水」の視点から捉え、その影響やかかわりを記述する。	石見銀山に関する文化財保存、地域との関係、世界遺産登録、次世代への継承に関して記述する。

販売について

● 価格

一、二〇〇円（税込）

● 規格

A5判 235ページ

● 販売窓口

大田市役所石見銀山課

大田市文化協会

（大田市民会館内）

大田市観光協会観光案内所

（石見銀山公園内）

石見銀山資料館

石見銀山世界遺産センター

国指定重要文化財

熊谷家住宅



注 郵送で購入を希望される方は、本体価格に加え、送料・振込手数料が別途必要となります。

【お問い合わせ先】

大田市役所石見銀山課

☎0854-833-8133

ふるさと納税

大田市への応援の気持ちが全国から集まっています

平成29年度寄附報告

ありがとうございました

寄附目的	金額(円)
■定住促進	56,680,000円
■参画と協働によるまちづくり	38,944,000円
■石見銀山のまちづくり	44,837,000円
■芸術・文化・スポーツの振興	42,095,000円
合計	182,556,000円

「ふるさと納税」は、「ふるさと」に自分が貢献したいと思う自治体へ寄附する制度です。寄附先は、出身地以外でもかまいません。「お世話になった自治体」や「応援したい自治体」など、自由にご選ぶことができます。大田市にも、この制度を通じて全国からたくさんの方の応援の寄附が寄せられています。

【お問い合わせ先】

大田市役所まちづくり定住課
☎0854-833-8029